

つれづれ

平成29年5月2日(火)

親切について



先日、電車に乗っていた時のことです。中学生らしき男の子の体調が悪くなり、近くにいた乗客が、男の子を抱えて天下茶屋駅で下車しました。朝の通勤ラッシュの満員電車でしたので、気分が悪くなったのでしょうか。

私もそのようすを見ていたので、すぐに駆け寄りました。そうすると、数名の方が男の子の周りに集まり、その場で応急処置や駅員さんへの連絡など、機転の利いた適切な対応をとることができました。その時、行動を共にした人たちは、親切心から動いてくれたのだと思います。

ドイツの文豪ゲーテ（1749-1832）は、「親切は社会を結びつける金の鎖である」と言いました。

「親」は親しさを表し、「切」は刃物をじかに当てるように身近という意味を持っています。ですから、親切は「身近に寄り添い、相手に行き届くように尽くすこと」なのです。

皆さんにも、人に親切にしてもらったり、人に親切にした経験があることだと思います。人に親切にしてもらえば、感謝の心が湧いてきます。人に親切にしたときには、何かほっとした気持ちになるのではないのでしょうか。

世の中に親切の輪が広がれば、人と人とのつながりは強くなり、よりよい社会の実現につながります。

ただ、「善も積まざれば名を成すに足らず」の言葉のように、日頃から親切を心がけ、実践を積み重ねることが大切です。また、見返りを期待するような親切は、本物ではないということも心得ておきたいものです。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>